

2023年2月14日

各 位

会 社 名 株式会社リミックスポイント  
代表者名 代表取締役社長 CEO 小田 玄紀  
(コード番号：3825)  
問合せ先 取締役経営管理部長 高橋 由彦  
(TEL：03-6303-0280)

### 2023年3月期連結業績予想の公表に関するお知らせ

当社は、未定としておりました2023年3月期の連結業績予想につきまして、下記の通りお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 2023年3月期連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株あたり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回公表予想（A）	—	—	—	—	—
今回修正予想（B）	31,966	△1,899	△1,578	3,301	27.61
増減額（B－A）	—	—	—	—	—
増減率（％）	—	—	—	—	—
（ご参考） 前期実績 （2022年3月期）	28,753	8,205	8,173	6,913	64.05

#### 2. 2023年3月期連結業績予想公表の理由

エネルギー事業におきましては、ロシアのウクライナ侵攻をきっかけに電力取引価格が高騰したものの、その後の世界的な景気後退を受けて、2022年8月末頃をピークに、電力取引価格が大きく下落を始めるなど、相変わらず乱高下が激しく、電力取引価格の動向が不透明であったこと、また、金融関連事業においても、当第3四半期連結累計期間での暗号資産市場全体での暗号資産価格の大幅な下落があり、当社グループの業績を予測することが困難な状況にありました。さらに、2022年5月12日公表の「SBIホールディングス株式会社との資本業務提携契約の締結、及び連結子会社の異動(株式の一部譲渡)並びに特別利益計上見込みに関するお知らせ」に記載の、SBIグループとの資本業務提携が2023年3月期連結業績に与える影響についても、

合理的に算定できる状況にありませんでした。

しかしながら、電力取引価格の動向は現時点においても不透明であるものの、昨春ロシアによるウクライナ侵攻があったところと比較すると、落ち着きを見せており、また、2023年1月に入ると、下落傾向が続いていた暗号資産価格も底打ちを見せております。さらに、本日付「持分法適用会社の異動に関するお知らせ」に記載のとおり、当社は保有するBPJ株式の全てをSBIホールディングス株式会社の完全子会社であるSBICAH合同会社（本社：東京都港区、代表社員：SBIクリプトアセットホールディングス株式会社、職務執行者：近藤智彦）へ譲渡し、2023年3月期第4四半期連結会計期間において、570百万円の特別利益（2022年12月31日時点の財務数値に基づくものであり、2023年3月期第4四半期におけるBPJの業績により変動する可能性があります）を計上する見込みとなりました。また、SBIホールディングス株式会社との資本業務提携契約による今期の連結業績への影響が軽微であると見込まれることから、現時点で収集可能な情報を基に、業績予想を公表することといたしました。なお、本日公表の「当社一部事業の廃止に関するお知らせ」にあるとおり、自動車事業の廃止を取締役会で決議しておりますが、自動車事業の廃止が2023年3月期に与える影響につきましては軽微であります。

なお、2023年3月期連結業績予想において約10億円は前期末に計上した今期の電力先物取引に係る評価差額であり、当社の収益の中心であるエネルギー事業については2023年3月期第4四半期においては6億円程度の事業利益が計上される見込みとなっております。

以 上